

「和水お話の会」が文部科学大臣賞を受賞

4月23日（日）、東京都内で「平成29年度子供の読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰式」が行われ、「和水お話の会」が文部科学大臣賞を受賞されました。

和水お話の会は平成22年度に各学校で行っていた読み聞かせグループから有志が集まり、和水町の子もたちなどの読書活動の推進に取り組むことを目的として活動を行ってこれました。主な活動としては、和水町子ども読書フェスティバル、土曜よみよみ会、読み聞かせ講座などであり、幅広く精力的に活動をされています。

会長の廣田須美子さん（玉名市）は「このような賞を頂けて大変光栄であり、これからは和水町の子もたちのために活動を活発にしていきたい。」と話されました。



町長と和水お話の会のメンバー

ロアッソ熊本の選手が和水町を表敬訪問

4月27日（木）、ロアッソ熊本選手団が和水町を表敬訪問しました。

表敬訪問したのは、黒木晃平選手、村上巧選手、安柄俊選手、田中達也選手、上原拓郎選手の5人。

これは、ロアッソ熊本の「火の国もりあげタイ！」事業の一環で行われたもので、ロアッソ熊本の選手が行政や地域住民と交流しながら、地域の「まちづくり」や「まちおこし」の応援を行い、ともに熊本を盛り上げていくことを目的としています。

この日は、選手との名刺交換や歓談を行い、チーム状況や練習、試合の様子などの話で盛り上がりしました。また、町からは特産のスイカを贈呈し、選手を激励しました。

和水町は、ロアッソ熊本のJ1昇格に向けて、引き続き応援していきます。



表敬訪問したロアッソ熊本の選手

里山美術展が開催

5月2日（火）～6日（土）、肥後民家村で第15回里山美術展が開催されました。

これは、里山楽縁企画が主催しており、さまざまな作家の芸術作品を鑑賞したり、実際に手すき和紙やガラス工芸などを体験したりすることができるイベントです。

今年は、福岡市在住の画家の永武さん（えいたけ）を招待し、布施家で作品を展示。多くの来場者が絵画に心を打たれていました。

また、開催期間中は、津軽三味線クラブの演奏やチェーンソーアートショー、書道パフォーマンスなどが催され、1日中いても飽きないイベントでした。



手すき和紙を体験する参加者

持続可能な生活のために バンコcafe vol.13

4月9日（日）、肥後民家村旧布施家で「バンコcafe vol.13」が開催されました。

このイベントは、ポルトガル語でバンコと呼ばれるベンチで、来場者にゆったりしてもらおうと小野弥さん（おののひろし）が企画。今回で13回目を迎えました。

今回は、古民家の庭に町内外の飲食店・雑貨店24店が出店。雑貨では、消しゴムハンコやアロマ雑貨などのワークショップも開催されました。そのほかに、「憧れのサステナブル（持続可能な）生活」をテーマに、持続可能な生活を研究している人や養鶏・農業で生計を立てている人などとのトークショーが行われました。



バンコに座りくつろぐ参加者

第12回花の香酒蔵祭りが開催されました

4月9日（日）、田中城跡前の歴史と文化のふれあい広場で「第12回花の香なごみの会酒蔵祭り」が開催されました。この祭りは、花の香酒造「なごみの会実行委員会」が企画したイベントで、秋から仕込んでできた新酒の披露を目的として、毎年行われています。

当日は、広場を埋め尽くすほど多くの人が来場。ステージでは、肥後独楽やライブのほか、琉球太鼓などが披露されるとともに、ステージ外では、多くの屋台が並び来場者の胃袋を満たしたほか、500本限定で当日の朝搾りの純米大吟醸と瓶内二次発酵花の香DRYの販売などがありました。

イベントの最後は、お楽しみ抽選会が行われ、1日中盛り上がるイベントでした。



花の香酒蔵祭りを楽しむ参加者

馬場区で防災教室を開催

4月23日（日）、馬場区児童公園で防災教室が開催されました。これは、馬場区自治会が梅雨時期を前に水害などへの意識を高めようと企画。

防災教室には、子どもからお年寄りまでの約80人が参加。国土交通省菊池川河川事務所の職員が講師となり、浸水ドア実験や液状化実験、堤防決壊実験、すごろく形式の防災クイズなど実験を交えながら、日ごろの備えや早めに避難することの重要性を教えていました。

浸水ドア実験では、水深が40cmでもドアを開けるのにかなりの力がいることが分かりました。



浸水ドア実験をする参加者